

予算決算委員会総務文教分科会会議記録  
(補正予算審査)

1. 開催日	令和4年2月3日(木)
2. 場所	議員協議会室
3. 出席議員	渡辺拓道座長、大上和則副座長、原田豊彦委員、 隅田雅春委員、安井博幸委員、森本富夫議長
4. 欠席議員	なし
5. 会議に付した事件	・議案第12号 令和3年度丹波篠山市一般会計補正予算(第18号)
6. 議事の経過	<p>渡辺座長 開議宣告、開議</p> <p><b>■企画総務部</b>  <b>日程第1 議案第12号 令和3年度丹波篠山市一般会計補正予算(第18号)</b></p> <p><b>創造都市課</b>  <b>【主な説明】</b>  補正予算書に基づき説明</p> <p><b>【主な質疑】</b>  隅田委員 公共交通対策事業について、昨年5月でしたか、高田タクシーが撤退されたため、市単独バス対策等補助金が減額になると思ったりしたのですが、ドライバーがいない、確保出来ないということで車両が19台から17台になったことによる減額という説明でした。これは全部日本交通が対象なのか。  次に、ふるさと丹波篠山に住もう帰ろう運動推進事業のお試し滞在中、福住のわだ家の今年1年の現況を簡単に説明していただければと思います。</p> <p>企画総務部 まずタクシーの件ですが、こちらの減額につきましては高田タクシーさんではなしに、日交さんの減ということになります。これはコロナ交付金等でも予算として上程させていただいた部分もございました</p>

が、ドライバー不足ということが深刻な状況でありまして、台数にかかります補助金等も交付しているのですが、今後もドライバー不足については、日交さんに聞きましても深刻な状況ということは聞いているところです。

次にお試し住宅ということで、今わだ家さんが主力でしていただいているところもございませう。ほかにも空きバンクの物件等も入っていただいているところもあるのですが、わだ家さんにつきましては、ほぼ埋まった状態と申しますか、非常に人気がありまして、特に、地域の方とも御協力いただきながら、移住定住に努めているところですが、非常に人気があって、ほぼ埋まっているような状況になっています。

隅田委員

日交さんのドライバーが確保出来ないということで、その影響は乗り合いタクシーのほうに出てきているということはないのでしょうか。

企画総務部

今のところ影響はございません。

安井委員

先ほどのタクシーの運転手の件ですが、篠山口駅周辺ぐらいしかわからないのですが、結構客待ちのタクシーをよく見かけます。今、コロナで駅の利用者自体がすごく減っているわけですから、タクシーの利用者もそれにつられて減っているわけだから、客待ちの時間がすごく多くて、タクシーの運転手を確保しても仕事がないんじゃないかと思っただけで仕方がないんですけど、その辺の現状認識というか、これに対して補助金を出しているわけですけども、その辺りのデータに基づいた議論が出来たらと思うんですけど、そういうデータはありますか。

企画総務部

明確な調査等は、行っていないところではあるんですけども、今、乗客が少なくなっている中で、特に駅におけるタクシーの需要というのは確かに少なくなっている現状があると思います。ただ日交さんは、駅と立町にも事業所がある中で、特に今は買い物や医療関係の利用というものもあると思います。先ほどの乗り合いタクシーも含めて、駅だけの需要ではなしに、他の需要もあると思います。観光客、あるいは通勤通学は、若干減っているところはあると思いますので、その辺の分析もあわせてタクシー会社ともにして、今、日交さん一社でございませうので、市としてどういう支援をしていくべきかということも含めまして検討していきたいと思っただけです。

安井委員

事実、データに基づいて本当に必要な支援というのをさせていただきたいと思っただけです。本当に必要なところに必要なサービスが行くんだらいいけど、客待ちで待っているのに対して支援するというのは、

どうも納得がいかないという感覚が私にはありますので、きっちりとした客の利用状況や、1台当たりの稼働率などが今どういうふうに変化しているか、そういうデータに基づいて支援をしていただくように制度設計をお願いしたいと思います。これは要望ですが、よろしく願います。

次に、保育・幼稚園保育料等補助金の増額ですが、0歳から2歳児がふえたということですが、人数的にはどのぐらいで、今回増額しなければならないのは、当初予算の想定が甘かったということなのか、その辺りの説明をお願いします。

企画総務部

保育料等補助金につきましては、当初37人を予定しておりましたが、11人増の48人の見込みとなっております。この37人につきましては、令和2年度の実績見込みをもとに出しておりましたので、当初見込みよりも増えたという状況です。

安井委員

令和2年度の実績見込みに比べて増えたという説明ですが、対象者がふえた理由というか、物理的にその人数がただふえたのか、こういう原因でふえたのか、何かそういう理由か分かるのであれば教えてください。

企画総務部

保育・幼稚園の保育料等の補助金になりますので、たき認定こども園というのが大きな部分かと考えております。特に保育園に預けられるニーズと申しますか、事情等について十分把握はしていないところなんです、保育園に預けられる方の人数が11人増となっております。その周辺地区で考えますと、例えば福住地区等についても、かなり移住者もふえているところですので、そういうところも含めまして、子どもの数というよりも、保育園に預けられる方が、仕事の形態など、そういうことも含めて多くなっているのではないかと考えておるところです。

安井委員

たきこども園が出来て、需要がふえたということですが、ふえた11人のうち、どこの地区がふえたのか、その内訳はわかりますか。

企画総務部

まず私の方から最近の保育状況だけ御報告をしておきたいと思えます。国のほうが子育て支援を強化するという中で、3歳児から5歳児については無料化をするというような中で、市内全域あるいは全国的にも子どもさんを保育園に預けるということが、ある意味当たり前のような環境になってきております。その影響を受けまして、今回対象になっておりますのは重点地区の0歳児から2歳児ということで御説明させていただいておりますが、市内全域を見たときにも0歳児、

1歳児あたりで、味間認定こども園でも待機児童が出てきているという大きな課題がございまして、重点地区ももちろんそうなんですけど、市内全域でそういう課題があるということございまして。特に待機児童が出てきているのは保育士1人に対して何人見られるか。どんどん年齢が低くなるほど、数が限られてきますので、そういったところで待機児童が出てきていると思いますが、現在来年度に向けて、保育園の入所の対象を精査させていただいているところございましてけれども、非常にそういう意味では厳しい状況で、先日2月1日から正規の職員の保育士を再募集しているところで、なかなか担任をしていただけない方にも集まっていただけないぐらいニーズがあるという状況ございまして、全体的な形としてはそういうふうに御理解いただけたらと思います。

企画総務部

今年度の交付見込みの方になるんですけども、48人中たき認定こども園に通われている子どもさんが19人となっております。ほかは城東保育園やしき保育園、ささやまこども園に通われているという状況です。

大上副座長

お試し住宅のわだ家さんが、非常に人気があってほぼ埋まっているという状況を説明いただいたんですけども、それは予約したいけども空きがない状況になっている、そういった理解でいいんですか。

企画総務部

そのように理解させていただいてよろしいかと思っております。わだ家さんにつきましては、福住のまち協さんが運営されておるんですけども、そこと協力して今年度お試しの支援金の補助金ですとか、JR西日本との共同プロジェクトを運営させていただいております。JR西日本との共同プロジェクトは応募33件のうち、当市でお試し移住をしたいという方が22件だったんですけども、このうち福住わだ家さんに入居出来たのが5件というような、もう既に予約が入っていたりしまして、ニーズはあるんですけども、お試し移住ができる施設が足りないという状況になっております。

大上副座長

福住地区で移住者が増えていっている状況であれば、市内全域で考えると、お試し住宅や空き家バンクの登録もやっているということなんですけど、出来たら旧町単位で一つずつぐらいそういうところをつくっていったら、もっといろんなところを知ってもらうきっかけになっていくような気がするんですけども、もう少し踏み込んだ話をされているのかどうか、お聞かせください。

企画総務部

JR西日本と共同プロジェクトを始めるに当たって、わだ家さん以

外にもお試し住宅が出来ないかということで、検討させてもらいました。今年度につきましては、お試し住宅として使えないとかということで、JR西日本が初田の物件を借り上げられたんですけども、結局そちらのほうは申込みがなくて、申込みがない状態で借り上げておくと赤字になってしまうということで8月に解約をされたというようなことがございました。今回、わだ家さんだけという形になったんですけども、運営できるところが他にないか、別のゲストハウスなども聞いたりはしたんですけども、単なる空き家ではなくて、ウイークリーマンションですとかマンスリーマンションのような、手ぶらですぐ来て泊まれる状況のお試し住宅にニーズがありまして、そうでないと本拠に家財道具を置いているし、家賃もそっちで払っていらっしゃるということで、それを持って来ることが出来ないということがありますので、すぐ生活できる状況があるお試し住宅が必要だという状況です。そうなりますと、普通の空き家では対応が出来ないということで、JRさんが借り上げた物件も普通の空き家を借り上げたということで、ニーズと実際のハードとが少し合わなかったということで、申込みが入らなかったというのがあります。ハード整備には家主さんに初期投資が結構かかってきたりしますし、月貸しですので、ずっと家賃が入るわけではないので、運営の難しさを今少し感じていまして、暮らし案内所とも調整しながら、何か出来ないかというのは今検討しているという状況です。

隅田委員

空き家活用事業について、市野々の寄附空き家の売却が完了したことから電気代を減額という説明がありました。この物件を買われた方の世代や家族構成がわかれば知らせいただきたいと思います。

企画総務部

市野々の物件につきましては、20代の女性の方が購入されています。以前は大阪にお住まいで、実際もう住んでいらっしゃいますが、旦那さんは自営業で、奥様は看護師をされておられます。

安井委員

古民家に住むだけじゃなしにこの丹波篠山市内にお試しで滞在するという趣旨もあるかと思うんですけども、それでしたら、例えば丹波篠山の家が出来たわけですから、そこに家具入れて、お試しで滞在してもらったらどうかと思うんですけど、どうですか。せっかく丹波篠山の家をつくったのなら、こういうところに住んでくださいという格好で、お試し滞在から新築ということもあり得ると思うんですが、どうですか。

企画総務部

私どもが考えていなかったような発想をいただいて、そういう考え

方もあると思いました。わだ家さんの人気ぶりがあるんですけども、わだ家さん自身は福住のまちづくり協議会さんの所有物として、事業実施をしていただいておりますので、家具などもあるということでございます。それ以外の古民家の空き家については、そういう形が今、十分でないというところで係長が申し上げたような状況かと思っております。その中で、安井委員から御提案いただきました丹波篠山の家につきましては、現在は建設業組合さん等をお願いをしましてモデルハウスとして運用していただいておりますので、家具等については今入っていない状況です。今後、日常使用していく中でのモデル公開というはどこまでできるのかという課題があらうかと思っておりますので、これは地域計画課が担当しておりますけれども、そういう御意見をいただいたということにつきましてはおつなぎして、私どもとしても活用が可能だということであれば、考えていきたいと思っております。

安井委員

実際、モデルハウスをつくって、建設業組合の方が案内しても生活臭がないんです。家具もない、生活もない。例えば、お試し的に入っていただけるように家具や調度品も全部そろえて、短期間に順繰りに滞在してもらって、その合間に見学してもらおうといった有効活用を考えるというのは一つのアイデアとしてあります。実際、アメリカなんかで、モデルハウスに人が住んだりしているという話を聞いたことあるんで、そういうことをすることによって、実際その人が生活するうえで、こういう暮らし方が出来ますというのは、具体的な提案ができると思うし、モデルハウスを普及させたいのであれば、そこに住んでもらうというのがいいのではないかな。見てもらうだけではインパクトが足りないと思います。その辺について担当部署の方とまた協議していただければうれしいと思います。

次に、高等学校遠距離通学費補助金が減額になってはいますが、これは市内の方が市内の高校へ通うときの支援だと思いますが、実際、市内の高校に通ってくださいというのを市としても推奨されていますが、ただ、市外から市内の高校へ来られる場合についても、そういう助成があればいいと思いますが、いかがでしょうか。

企画総務部

1つは、バスの上限200円運賃制を導入したんですけども、例えば駅方面から東雲高校に行かれるような場合は、200円制を利用されているようなので、それは一つの支援といえると思います。

安井委員

公共交通対策事業で、上限運賃制補助金が増額補正になっているんですが、上限を200円にしたことによって、利用者はどのくらいふ

企画総務部	えたと理解したらいいのでしょうか。
企画総務部	神姫グリーンバスさんからいただいた状況でございます。前年比較ですので、前年がコロナ禍でしたので、比較が難しいところはあると思うんですけども、前年比で約150%増えています。倍とはいきませんが1.5倍ぐらいには利用者はふえているということになります。現金の方も含んでおりますので、一概にNicoPaや上限運賃制が全て影響しているということはいい難いとは思いますが、しかしながら支払い方法として、これまで現金、NicoPa、その他ICOCAなどのICカードを利用されている比率が、NicoPaにつきましては、ほぼ倍の利用になっております。NicoPaの販売件数につきましても、前年比の約2.5倍になっておりますので、普及については一定していると感じております。
渡辺座長	今の数字は、期間的にはいつまでのデータですか。
企画総務部	乗車人数につきましては令和3年4月から令和3年9月までで、NicoPaの販売件数等につきましては、11月までの状況です。
安井委員	NicoPaになって、200円の上限になるわけですけども、NicoPa以外でしたら、今までどおりの運賃を払うと思うんですけど、今、NicoPaはどのぐらいの方が利用されていると理解したらいいんですか。
企画総務部	支払い方法の割合でございますが、現金が23%、NicoPaが45%、その他ICカードが32%となっています。
安井委員	特に福住や草山などの遠距離ですと、NicoPaの効果がすごく大きいと思うんですけども、来年度以降もこの政策が継続されるのであれば、補助金もどんどんふえていくと思うんですけど、それによって乗車率もこれから増加すると見込んでいいのでしょうか。
企画総務部	上限運賃制200円というのは非常に大きいと感じております。おっしゃるとおり、特に遠距離の方については、定期券を購入するよりNicoPaを利用して上限運賃制を利用の方がお得ということもありますので、今後そういうPRも含めてしていきながら、乗客については、神姫グリーンバスとも話はしておるんですけども、利用者増に向けて進めていきたいと思っておりますので、そこは増えていくだろうと考えております。ただ、今年に変更した時期でもありますので、NicoPaへの変更の割合が非常に高い状況でしたが、ある程度上がっていけば、若干横ばい傾向も続いていくのではないかと考えております。

渡辺座長

次に高等学校遠距離通学費補助金ですけれども、この補助金の趣旨というのは、市内の高校生、特に遠距離の方に対して経費の負担軽減という意味で創設した補助金でございます。そのような趣旨から市外の方を対象にということについては、そこを加味したものではないということで、御理解いただけたらと思いますのでよろしく申し上げます。

先ほどから話が出ておりますタクシー事業者支援金の関係なんですけれども、今後、市としてできるようなことを考えていくというようなことなんですけれども、私も、その辺りの状況について日交さんに寄らせていただいて、過去にも状況を聞かせていただいたこともあります。確かに、乗り合いタクシーには、答弁いただいたように影響は出てないんですけれども、実際のところ、乗り合いタクシーは優先して配車せざるを得ないということで、そちらには1名確保しなければならないので、一般配車のほうで困っているというようなことであったと思います。また人員の確保について、私も企業振興のほうにこの前も話して、何らか市として募集の応援が出来ないだろうかというようなことで、企業紹介として過去に広報で取上げていただいたんですけれども、そこだけ人の募集をするというのはなかなか、広報の性格上難しいという部分があったんですけれども、今回、1社になったということと、先方が求めていらっしゃるの若い方じゃなくてもいいというか、多くは一旦、一つ目の仕事が定年になって、第2の仕事という形で働いている方が多いということで、そういった方にぜひとも仕事をしてもらいたいということでもあります。今の社会の働き方といった中で、なかなか過去のように年金が安定してあるというような時代も過ぎてきておりまして、できるだけ働けるところまで皆さん働いていきましょうという社会になっていく中で、今高齢者の就業についてはシルバーさんであるとか、そのほかハローワークの仕事の情報を市から発信するということなんですけれども、少しその辺りの第2の仕事をしたいという人に対して、仕事の機会を提供していくというような事業について、このタクシー会社さんだけということではなく、総合的に考えていく中で、そういった方々へのある程度絞った対象で仕事をしてもらう機会をつくっていくということも大事ではないかと思うんで、これは企画だけでできる話ではないかと思っておりますけれども、ぜひとも、今後、人不足っていうのはここだけでなく、いろんなところで出てくると思いますんで、前向きに検討してもらえたらうれしいと思います。

それと、1点気になったのが歳入の地域ラボ使用料なんですけど、説



明の中で西紀のラボが未入居で、大芋でも予定よりも利用がなかったというようなことなんですけど、市としてはイノベーションラボと地域ラボについては、地域創生の中で力を入れてきた部分ではないかと思うので、実際その地域ラボの状況が減額に至るに当たってどういう状況にあるのか、御説明願えたらうれしいです。

企画総務部

まず、西紀のラボの未入居につきましてですけども、前年、イノベーターズスクールの卒業生が、令和2年4月に入居して、その後3年の2月で退去されていました。令和3年度につきましては、スクールの卒業生や協力隊の隊員さんなどのことも考えたんですけども、西紀南地区で地域おこし協力隊の隊員がいなかった関係で空きになっていました。大芋につきましては、この12月まで協力隊の隊員さんが居住されておりましたが、大芋地区内の市野々で物件を見つけられて、そちらのほうに引っ越しをされたということで、3か月空きという形になっています。

企画総務部

先ほどのタクシーの件なんですけど、人材確保の問題というのは、深刻な状況だということもこちらも確認しているところです。今おっしゃいました第2の仕事としての位置づけということで、高齢者の雇用という部分もございました。その中で市としても、人員確保をどのようにしていくかという部分につきましても、もう少し現状をしっかりと確認させていただいた上で、支援も含めてどのようにしていけるかというところを、もう少し掘り下げて検討していきたいと思っております。特に、今市内企業全般におきましても、雇用の面でなかなか募集しても人が来ないといった話もよく聞かれます。タクシー業界も厳しい状況だということも同じかと思っておりますので、企業振興からの観点も含めまして、全般的な雇用促進という部分についても、関係課と連携しながら、取り組んでいけたらと思っておりますので、渡辺座長も日交さんと話をさせていただいているところもあるので、情報等も教えていただきながら、調整出来たらと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

企画総務部

タクシー業界さんにつきましては、昼の空き時間というのがあるんですけども、実際にはよく繁忙期として朝方の医療機関への通院にたくさん利用されているということで、その時間的な確保に苦慮されております。高田タクシーさんも実際に5月に廃業されてしまったんですけど、前年の暮れであるとか1月ごろには、なじみの方がお電話で呼んでいただくので、病院への通院を考えると、続けにくいところではあるんですけど、なかなか止めにくいんだという、そういうことの中

での最終的な決断に至られたと思います。タクシー業界さんの対応については、バス業界さんも含めて、何らかの形で考えていけたらと思います。もう1点地域ラボの関連ですけれども、西紀南の地域ラボにつきましては、少し特別な事情がございまして、昨年2月に入居されていた方が個人的な御都合で北海道に急遽移られたということがございまして、そのタイミングで新たな入居者を探し出すのがなかなかタイミング的にも年度末であって難しかったということとございまして、来年度につきましては、今回の補正予算でも、クリーニング費用が入っていると思いますけれども、ある程度見えてきているという状況とございまして、引き続きその活用をさせていただきたいと思っておりますし、日置の地域ラボにつきましても、期間を設けていますので替わられるんですけれども、新しい方が入ってきていただけるというような状況とございまして、タイミングを逃さないような形で、今後も新しい方の募集をどんどんかけていきたいと思っております。

渡辺座長

雇用のほうは、またいろいろと十分検討をお願い出来たらと思います。

特に西紀の地域ラボの件なんですけれども、活動の拠点ということで、退去された方と思うんですけれども、その方が結構必要だということとで用意してきた事があって、それが途中で公費を入れて、都合でどうしてもしょうがない都合だったと思うんですけれども、短期間に出ていかれるというのも少しどうなのかなという部分がありますので、やはりある程度、地域ラボに地域としても期待もされておりますので、入られる方については、一定の覚悟をしてもらった上で公費支援をしていくということとある程度徹底してもらわないと、整備したわ、空いてしまっているわというの少し課題があると思うんで、その辺りはしっかりと利用される方については、説明をしていただく必要があるんじゃないかなと思います。これは意見としてお願いします。

ブランド戦略課・総務課

**【主な説明】**

補正予算書に基づき説明

**【主な質疑】**

隅田委員

雑入のホームページバナー広告料について、2事業者減とのことで、

	<p>歳入も減額することですが、これは新型コロナによる減収が影響しているのか、それともほかの理由があるのかその辺り説明をお願いします。</p>
企画総務部	<p>コロナの影響というのは伺っておりません。撤退された事業者からは、丹波篠山市のホームページからのアクセスが減ってきているため撤退したと伺っております。</p>
安井委員	<p>雑入の広報紙広告料は増額になっているんですが、市内割引というのを初めて聞いたような気がするんですが、その辺りの説明をお願いしますか。</p>
企画総務部	<p>前年度の分科会でも広報紙の広告獲得については努力をなささいという御指摘をいただきまして、そのあといろいろと検討させていただきました。これまでは、広報紙、A4サイズの紙面の下段に1枠だけの大きな広告のみでしたが、1枠のみでは金額も高く使いにくいというお声も頂いておりましたので、広告枠を半分にしたり、市内事業者の割引を大きくしたりして、1件当たりの広告料は減額となりましたが、逆にお声がたくさんかかりまして、たくさんの事業者から応募いただいた関係で、結果、広告収入がふえたと思っております。</p>
企画総務部	<p>今回、1枠とその2分の1サイズを設けさせていただきました。これまでは1枠3万円でしたが、市内事業者については、20%の割引の2万4000円に減額しております。半分サイズにつきましては、市内事業者が1万5,000円、市外事業者が1万8,000円で提示をしております。今回、これをした結果、昨年 of 広告事業者の7件から今年度は13件となり、その内訳としましては、市内事業者が7件、そして市外事業者が6件です。市外事業者に話を聞きますと、篠山で営業をかけたいということで、広報紙を使ってPRをしたいということを言われていました。市内事業者につきましても、コロナ禍なので、広報紙に掲載して、仕事を始めたいということで応募がありまして、13件という結果になっております。</p>
安井委員	<p>文書広報費が約132万円減額になっていて、これは、より安く広報が出来たと理解しているんですけども、市の広報は、市外の業者に委託しているということでよかったですか。</p>
企画総務部	<p>昨年までは、三田市の業者でしたが、今年度は市内の業者さんに、昨年と比べてページ単価1,000円減額で落札いただきました。</p>
安井委員	<p>当初予算から100万円以上も減額っていうのは、ページ単価が安くなったことに加えて、ページ数も減ったと理解したらいいんでしょう</p>

うか。

企画総務部

ページ数は昨年に比べて、若干減っております。昨年まではトータルの平均が38ページでしたが、今年度は、今のところ平均36ページということで、約2ページ減っているという状況です。

## ■教育委員会（生涯教育）

### 日程第1 議案第12号 令和3年度丹波篠山市一般会計補正予算（第18号）

社会教育課・文化財課

#### 【主な説明】

補正予算書に基づき説明

#### 【主な質疑】

安井委員

教育使用料ですが、歴史美術館や4館共通券入館料などがいずれも減額で、コロナにより入館者が減ったということなんですけど、実際、何割ぐらい人数的に減ったんでしょうか。昨年もコロナですから正常なときというか、コロナ以前と比べてどのぐらいの割合で減っていると理解したらいいのか教えてください。

教育委員会

コロナ前の3か年平均と比較しまして、約40%減少いたしております。

中央図書館・田園交響ホール

#### 【主な説明】

補正予算書に基づき説明

#### 【主な質疑】

安井委員

図書館管理運営費が約133万円減額になっています。コロナによって、入場制限やいすの配置なども工夫されていますが、図書館の利用者数は、コロナ前と比べて何割ぐらいになっているんですか。

教育委員会

令和2年度の入り込み数が、8万4,148名、これは中央図書館の分になりますが、比較で令和元年が12万2,736名となっており、約3割減となっています。

安井委員

休館もありましたし、利用が減っているのは、私も行って感じると

	<p>ころなんですけども、市民センターの図書コーナーがボランティアから直営になったことによって、市民センターの入館者や利用者は、今どういう状況なんでしょうか。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>市民センターにつきましては、これまでは1日平均45名ほどの人数でございましたが、令和3年4月から市の直営に戻りまして、人数をカウントしているところでございますけれども、平均50人は優に超えておるとい状況でございます。特に多い日でいきますと、100人を超える利用者がいます。利用者からは、中央図書館と同様のサービスが開館時間の10時からしていただけることで、利用しやすくなったというような喜びの声もいただいておりますので、サービスの提供に伴って利用者も増えてきているのかなというふう実感しております。</p>
<p>原田委員</p>	<p>市史編さん事業が順調に進められていると思いますけども、実は私、先日歴史に興味を持っている同級生から連絡いただきまして、市史の編さんが進められているが、自分も思いがあるんで、その編さんに関してお伝えしたいことがあるという相談を受けまして、一緒に行ってくれみたいな話がありましたが、それは中止したんですけども、例えばそういう市史にすごく興味がある場合、意見なんかがあった場合、聞いてもらったりすることは可能なんでしょうか。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>それは、例えば、お持ちの資料を提供するのにどうするかということなのか。あるいはサポーターという形で、何らかしら事業にかかわりを持てるかどうかというようなことでしょうか。</p>
<p>原田委員</p>	<p>詳しいことは聞いていないんですけど、私の聞いた範囲では、市民がなるべくたくさんの方に市史に興味を持っていただけるように、ダイジェスト版みたいなものを広く配布したほうがよいのではないかなという意見をお持ちでした。</p>
<p>渡辺座長</p>	<p>市史編さんの進捗状況だけ、報告をお願い出来ますか。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>市史編さんにつきましては、市民ができる限りその地域の歴史を知って、そしてこれからにつなげていくという大きな事業であると思っています。そういう意味からしますと、やはり市民の皆さんに見ていただけるような、そういう情報発信というものは大事だろうと思いますので、今現在取り組んでおります市史編さんの経緯や、貴重な地域資料であったり、そういったものをできる限り、ダイジェスト版といいますか、広報等を通じて、地域の皆さんにPRをしていきたいと思っております。あわせて、家を建てかえると、地域の資料がなくなっ</p>

<p>安井委員</p>	<p>てしまうというような懸念もありますので、地域資料をできるだけ保存して、将来につないでいくというようなことで、PRもしていきたいと思っておりますので、地域の情報等もいただきながら、お世話になりたいと思っておりますので、よろしくお伝えいただけたらと思います。</p> <p>古い新聞をデジタル化するという事業があったと思うんですが、今回の補正には載っていないんですが、今どういう状況なのかお尋ねしたいんですが。</p>
<p>渡辺座長 教育委員会</p>	<p>進捗状況の説明は出来ますか。</p> <p>今現在、篠山新聞のPDF化を業者に依頼している状況でございます。今年度につきましては、昭和22年から31年の間の新聞をPDF化という形で、現在業者と調整をしている状況でございます。</p>
<p>安井委員</p>	<p>交響ホール市主催事業費で、市民ミュージカル補助金が約241万円減額になっています。入場料アップなど、いろいろ経営努力をいただいているということはよくわかったんですけども、今後こういう方向で市民ミュージカルはやっていただくということになるのでしょうか。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>今回で10回目になりますが、例年でしたら、隔年ということで2年に1回行っております。丹波篠山の教育にも書かせていただいているとおり、今後も2年に1回、市民の活性化にもなりますので、上演出来たらと考えております。</p>
<p>隅田委員</p>	<p>はっきり理解していないんですけど、先ほど、今回の市民ミュージカルの上演にあたって、自治総合センターからの支援が不採択になったので、市の負担を増やすことがないよということ、入場料を上げたというような説明を受けたと思うんですが、これまでの経過と、今回の不採択、これはどういうふうな流れなのか、これまでずっと採択されて支援があったのか、その経過の説明をお願いします。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>今回で10回といいましたが、過去に1回だけ不採択になったことがあります。5回目のときに一度不採択になったということで、それ以外は採択になっていたんですが、今年度不採択という形になりました。規模を少し縮小して頑張っていこうということで、今年度は、行ってまいりました。</p>
<p>隅田委員</p>	<p>今規模を縮小と言われましたが、どのぐらい規模を縮小したのか。また入場料をどのぐらい上げられたのか。また不採択になった理由とか、例えば5回に1回ぐらいは不採択になるものなのか、何かそういう理由があるのか、その辺り把握されていまして説明をお願いします。</p>

教育委員会

します。

まず入場料なんですけど、大人が1,500円、高校生以下が1,000円という設定をしていましたが、大人の方のみ500円アップしまして2,000円で今回販売させていただきました。本来でしたら市からの実行委員会への補助金は510万円ということですが、340万円減額になりますので、実行委員会からの補助金も、それを引いた分の170万円で予算をもう一遍組み直して行うということやってまいりました。また不採択理由なんですけども、自治総合センターにも問合せましたが、基本、不採択になったところが何件かあるとは思いますが、理由は話せないということでその内容についてはわかりません。

## ■監査・公平・選挙・固定審事務局

### 日程第1 議案第12号 令和3年度丹波篠山市一般会計補正予算(第18号)

#### 【主な説明】

補正予算書に基づき説明

#### 【主な質疑】

隅田委員

選挙管理委員会費で明推協の研修をオンラインで行われたという説明だったと思うんですが、今、新型コロナ禍において、オンラインでの会議とか研修などは明推協だけでしょうか、ほかにもあったりしたでしょうか。

監査委員等事務局 明推協につきましては、研修会は中止とさせていただいております。県等が行っております研修会などは、オンラインというのはございます。全く中止というわけではなくて、オンラインでの開催というのは、何件かしていただいているところです。

隅田委員

再度確認ですが、明推協のところで、オンラインでされたというような今説明があったんじゃないかなかったですか。会議でしたか、研修でしたか。

監査委員等事務局 明推協の研修も含めて、各種研修がオンラインになったものもあれば、中止となったものもあるという趣旨でございました。

安井委員

監査委員費ですが、議会選出の監査委員が病気で休んでいたということがあったと思うんですが、そういうときは代表監査の方だけで仕

事されていると思うんですが、それカバーするような費用というのは発生しないのでしょうか。

監査委員等事務局 議会選出の監査委員さんにつきましては、病気ということである一定の回数の審査を欠席されましたが、今現在は、そのまま監査委員として職務を遂行していただいておりますので、欠席によって、費用が発生しているようなことはございません。

安井委員 県知事選挙費ですけども、約540万円の減額補正なんですけど、それは、最初の見積りが高過ぎたから低くなったのか、それともそうじゃなくて、前回4年前もこのぐらいは要ったんですけども、何らかの理由があって減額になるのか、その辺の違いがわかりましたら教えてください。

監査委員等事務局 国や県の選挙に関しましては、ある一定の上限というのが設けられております。それを上限として、各項目を予算組みしているんですけども、非常に開票がスムーズにいったとか、そういったプラス材料は今回もあったというふうに思うんですけども、これまでと同じような額の減額ということにはなっているかと思えます。

安井委員 毎回これぐらいの減額があるのであれば、最初から予算を立てるときに、もう少し現実的な予算を立てていただければ、その予算をほかの事業に使えるんじゃないかと思ったりもするわけですし、その辺の予算の精査について、少し甘いんじゃないかなという感じもするんですがいかがでしょう。

渡辺座長 財源について説明をお願いします。

監査委員等事務局 県の選挙に関しましては、10分の10県からの財源ということになっております。だからといってというわけではないんですけども、不足のないような予算組みをさせていただいているところです。

## ■教育委員会（学校教育）

日程第1 議案第12号 令和3年度丹波篠山市一般会計補正予算（第18号）

教育総務課・学事課

### 【主な説明】

補正予算書に基づき説明

### 【主な質疑】



安井委員	奨学金貸付事業で、ふるさと創生奨学金貸付金が168万円減額なんですけども、当初に何人を予定していて、実際は何人に奨学金を貸付けたのか、その辺りを説明願えますか。
教育委員会	当初予算といたしましては、公立高校が4人、確定したのが8人で4人増になります。私立のほうが12人分、確定したのが3人分になります。よってその差額としまして168万円の減額ということになります。
隅田委員	学校施設維持管理費について、篠山東中学校の大規模改修に係る工事請負費の減額が6,600万円余ということで、大変大きいんですが、その経過の説明をお願いしたいと思います。
教育委員会	篠山東中学校の大規模改修につきまして、減額理由の1点目は積算単価の見直し、二つ目に当初更新を予定していた緊急放送設備と自動火災報知設備についてそれぞれの故障に伴い、早急に直す必要があることから前年度に執行させていただいたこと、3点目としては、雨漏り修繕のため予定していた屋根改修において、空調設備改修の中で高所作業車を使うことが出来た際に雨漏り要因箇所が判明したことに伴って改修箇所を減したことなどによって設計を見直した。その上で入札に伴う減もあり、結果として約6,600万円の減額となりました。
隅田委員	6,600万円余の減額があったけれども、予定していた工事は全て出来ておるという認識でいいということですか。
教育委員会	そのとおりです。
隅田委員	学校教育総務費について、感染症対策として教育、保育備品を増額することなんですが、新型コロナのオミクロン株が随分と感染が拡がり学級閉鎖、学年閉鎖が出てきておるんですが、学級閉鎖等にスクールバス内での感染拡大の影響というのはあるんでしょうか、ないんでしょうか。
教育委員会	学年閉鎖、学級閉鎖等はありませんけれど、学校自体は閉まっていませんので、スクールバスにつきましては通常どおり運行しております。
隅田委員	感染者が発見されたという中で、例えばスクールバスに乗っておった園児・児童等は、濃厚接触者ということで自宅待機になっておるとか、またそのあと、スクールバスの園児等の乗り方に影響があったとか、そういうふうな感染とスクールバスの関係性というのはあったのか、現状ないのか、その辺りの説明だけお願いします。
教育委員会	現在の濃厚接触者及び感染者のウイルスとの流行状況から見ますと、バスの中で感染が広がったということは今のところありません。

	<p>バスも毎日消毒し、乗り降りのときの添乗員もきちっと消毒をして、声を発せずマスクをしてきちっと乗っているということで、子どもたちも職員も気を引き締めて対策をとってやっております。</p>
<p>隅田委員</p>	<p>デジタル教科書のライセンス使用料が今回の補正予算で上がってきておるんですが、年度当初ではなくて今回上がってきておるということで、どのような形で利用されるデジタル教科書のライセンス使用料なんでしょうか。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>今回の補正予算については、全額を次年度に繰り越す予定としており、4月に1年間のライセンスを購入し、来年度に使わせていただく予定です。</p>
<p>大上副座長</p>	<p>非常に感染者数がふえているということで、学校側もぴりぴりとした状態だと思うんですけども、今年特に寒い状況の中で、換気もこれまでどおりきちっとやっておかなければということもあると思うんですけども、特に今年の冬に関してどういうふうな、これまでと変わりなく、そういう対応はされているんですか。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>コロナの感染状況等がなかなか収まらない中で、学校としてできる感染対策としての換気、マスク、手洗い等については、もう子どもたちにも定着してきちっと行っております。確かにこの冬、寒い日が多いんで、子どもたちも寒い中で勉強している時間帯もありますが、適切な換気を行いながら、適切に暖房等も使って、学習の質を落とさないように各学校取り組んでいるところです。</p>
<p>大上副座長</p>	<p>サーモグラフィカメラは何校ぐらい、ほぼ全校、希望されたんですか。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>これまでから国の感染症対策に係る補助金等を活用し、サーモグラフィカメラについては、全校に設置出来ている状況です。児童玄関などに設置していたカメラを学校通用口などから業者等が入ってくる場合には、その都度移動させたりして対応していた中、何か所か入り口があるところについてはふやしたいという意向がある学校については、今回の予算で計上しております。</p>
<p>隅田委員</p>	<p>補正予算とは別なんですけど、感染が拡大してきておるということで、昨日も斎藤知事が病床使用率50%ですか、超えると緊急事態宣言を要請するということですが、当教育委員会においても緊急事態が発令されたとき、学校の運営といいますか、分散登校するなり、オンラインするなり、その辺りは検討に入っておられるんでしょうか。それはまだこれからのことなんでしょうか。</p>

教育委員会

1年半前ですか、2年前の春のように、全校休校というような緊急事態が今後あるのかどうかということは、状況をずっとつかんでおりますが、今の感染状況からすると全面閉鎖ということはないのではないかという思いは少し持っております。ただ、このコロナの期間中で、学校においては、そういったことを見込んでオンライン授業の先生のやり方の研修であるとか、校内でテスト的に閉鎖したクラスでやってみるということには、研究所が支援しながら取り組んでいるところです。そういった事態が起こっても教育を進めていく上での整備、支援としては、準備はしているところではあります。

渡辺座長

学校の感染対策なんですけども、サーモグラフィカメラについては、各学校園に整備を進めていただいているということなんですけども、状況を見て少し感じたりすることは、一定まとまって集団で登校してきて、検温を校舎に入る前にということになると、なかなかさばけないというか、それを全部きっちり対応するとなると、課題もあるのかなということで、逆にそこで、友達とかいろんな人との距離が、その場所で近くなってしまうのかなというようなこと思っています。最近、手首式の非接触の検温器があつて、手首をかざしたら体温が出るみたいな形で、そんな高い値段でなく、三、四万円ぐらいで、四角いキューブ型の検温器を使われているのを見たりするんですけど、あれはかなり反応が速くて、手首出して、ピッ、ピッ、ピッって行って、人が流れて行くようなシステムで非常に体温測定を早く、スムーズに済ませるには、そちらのほうが能力的には結構いいかなというような感じも受けるようなこともありまして、サーモグラフィカメラは一つ必要と思うんですけども、補助的にそういうような形の機器もあるんで、検討されたらどうかと思ったりしていましたんで、その辺りについていろいろ検討されているのかどうか、聞かせてもらえたらと思います。

教育委員会

原則、児童生徒は自宅で体温を測り、平熱であることを確認した上で登校するルールになっております。なお、手首ではかるというタイプの体温計を導入している学校もあります。今回の補正予算計上にあたっては、体温を測定するものを総称してサーモグラフィカメラと説明させてもらっています。価格的なこともありますし、先ほど御指摘があったようにスムーズに流れるという情報についても各学校で共有する中で御検討いただいて、必要であれば購入してもらおうという体制をとっているところです。

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

隅田委員

学校教育充実事業ですが、新規ALTが未配置ということで減額補正が上がってきておるんですが、当初予定されていたALTの人数に対して何名不足したのか。またそれが学校教育において影響が出たのか出ていないのかその辺りの説明をお願いしたいと思います。

教育委員会

ALTについては、当初の予定では8人を予定しておりましたが、3人未配置で5人になっております。12月にも1人配置の予定でしたが、コロナにより急遽ストップになりました。学校への影響については、本来なら8人を配置して、学校の授業支援に入るところですが、5人の配置先、授業時間を調整し、5人をそれぞれの小中学校に再配置する形で補っています。ALTが支援する授業時数の減において影響が出ています。追加になりますが、5名と申しましたが、そのあと追加で1名配置し、6名になっております。

隅田委員

日本人で英語のサポーターの人がおられると思うんですが、例えばそのALTが足りない分、そういう日本人の支援員をふやすなど、そういうことはされたんでしょうか。

教育委員会

JTEと言いますが、そういった方に入っていただきまして、カバーしていただいております。

大上副座長

トライやる・ウィークを昨年度も、恐らく短い期間で行われたと思うんですけど、実施内容が大きく変わっていったと思うんですけども、おおむねこの短い期間で、生徒はどのような体験をされているのか。例えば変更している点があったりしたら、その辺りを教えてもらえませんか。

教育委員会

昨年度については、コロナにより事業所体験の実施がすごく限られていましたが、今年度につきましては、2日間ですが例年と同じような形で、5日間を2日間の形で、全生徒がそれぞれの事業所で体験を行っております。学校からも事業所に対して、こういったコロナ禍で受入れていただき、本当に感謝の御意見をいただいております。生徒にとっても2日間だけでしたが、本当に貴重な体験が出来、大変充実した体験につながったと聞いております。

大上副座長

これまで事業所によって違うと思うんですけど、いろんな実際に体

験したことがあったと思うんです。手作業なんかでも、その辺りがなかなか出来ていないんじゃないかなと思って、それぞれの事業所側がそういったメニューを考えて、それに準じて子どもたちが、そういう事業所を希望されて行っているという形なんですか。例えば話を聞くというのも勉強の中の一つだと思うんですけれども、いかがでしょうか。

教育委員会

5日間の事業所体験が2日間になったことで、残りの3日間については、趣旨を踏まえその代替として、ものづくり体験などキャリア教育につながるような体験をそれぞれの学校で進めております。今年度は11月の初めに実施しましたが、9月ごろは、コロナの感染が1番ピークのときでありました。特に不特定多数と接するような事業所においては、感染状況によっては、受入れが出来ないかもしれないと事前に聞いておりましたが、11月に入りまして、緊急事態宣言も終わった時期でしたので、おおむね予定どおりの体験が出来たと思っております。

こども未来課

**【主な説明】**

補正予算書に基づき説明

**【主な質疑】**

隅田委員

ひょうご保育料軽減事業補助金で、0歳児から2歳児の子どもが対象で近年、対象者が増加傾向にあるというこの事業について、もう少し詳細を説明していただきたいと思います。

教育委員会

ひょうご保育料軽減事業につきましては、現在3歳以上については保育料無償化になっていますので、保育料がかかっている0から2歳児を対象にしています。世帯の所得要件がありまして、第1子目であれば5万7,700円未満、第2子次以降の子どもについては、155,500円未満の世帯の子どもを対象としています。ただし、就学前の子どもからカウントして、第2子、第3子以降につきましては、市の保育料の算定の時点で、既に半額軽減であったり、無料になっていますので、その子どもについては対象外となります。それ以外で兄弟が小学生以上にいる場合で、実際は第2子、第3子以降というカウントの方法で該当する子どもの保育料について、第1子については月

額1万円、第2子以降の子どもについては、月額1万5,000円を限度に補助するものです。対象者数の増につきましては、低所得者世帯の増や、兄弟関係で年齢の離れたお子さんの場合であれば、市の保育料の算定の時点で、第2子半額、第3子目以降無料の算定を受けていないお子さんの場合は、このひょうご保育料軽減事業の対象になりますので、そういった年齢の離れたお子さんがふえているというのも一つの要因ではないかと思えます。

隅田委員

ここ2年の新型コロナにおける所得減が影響して対象者がふえておるということではなくて、県の所得制限に対する緩和措置があったから、対象者がふえてきておるというニュアンスでいいのでしょうか。

教育委員会

特に所得要件の緩和等の制度の改正があったわけではありません。

隅田委員

所得制限の緩和の影響ではなくして、対象者がふえてきておるとするのは、子どもの年の開きが大きいとかそういうことを少し言われましたが、制度の適用の仕方が変わったということでしょうか。

教育委員会

この制度としては、特に要件やカウントの仕方については、変更はされていません。保育所に入所している園児の中で、この保育料軽減事業の対象となる児童が増加したということになります。

渡辺座長

当初の見込みで、今年度必要な分を予定されたと思うんですけども、それに対して様々な要因があつて、それをトータルした結果、増額補正せざるを得なくなったという理解なのかなと思うんですけど、特定の増額になった明確な理由があるというわけではなく、複合的にいろんな変化を合算したらこうなったという理解でいいのかなと思うんですけども、もう1回説明してもらえますか。

教育委員会

ひょうご保育料軽減事業の対象者につきましては、複合的な要因で人数が増減をいたします。要因の一つとしては、まずそもそも保育所等に入られる子どもたちの数がふえているのか減っているのかといったところ、それから保育所等に入られた御家庭の世帯の所得の状況で、低所得なのかといったところで、所得によっても変わってきます。そして三つ目が、第2子第3子の数え方といったところで、まず先に市のほうで、多子世帯については支援いたしております。それは、小学校に上がるまでのところで、その子が第何番目の子どもになるのかといったところで数えますので、範囲としては、狭い中で子どもがたくさん固まっていちゃれば、第2子第3子という数え方になります。一方県のひょうご保育料軽減事業につきましては、カウントできる範囲がもう少し上の世代までになります。小学生のお子さんがいらっしゃる

やったとして、小学校のお子さんから数えて、園児さんが何番目かといった数え方が出来ますので、そういったところで、兄弟の子どもさんがどの年代にいらっしゃるかという家庭の状況によっても、第2子第3子の数え方が変わってきますので、そういった複合的な要因で、今回については増額といった形になっております。

安井委員

私立認定こども園運営事業で、私立認定こども園特別運営費補助金なんですけど、市内には、ささやまと富山の2園あったと思うんですが、それぞれの金額は幾らになりますか。

教育委員会

今回補正予算計上している補助金183万8,000円のうちの75万円引いた額が108万7,220円になり、そのうちささやまこども園が55万6,260円、富山こども園が53万960円という内訳になっております。

安井委員

補助金額のうち、75万円とはなんですか。

教育委員会

75万円につきましては、富山こども園のICTを活用した業務システムの導入費になっております。

#### 東部学校給食センター・西部学校給食センター

##### 【主な説明】

補正予算書に基づき説明

##### 【主な質疑】

隅田委員

学校給食調理費ですが、給食の総数が減るといのは分かるんですが、ただそれが当初見込みから東部で46人ですか。西部で63人減ということで、これはどういうふうに理解したらいいのかなと思っておるんですが、転校していったのがこれだけおられるのか。当初篠山の学校にこられるはずだったのが、来られなかったのか、その辺りどういうふうに、数名であればそうかなと思うんですが、46人、63人と当初見込みより少ないといのは、見込み違いなのか、その辺りわかっておられる範囲で説明をお願いしたいと思います。

教育委員会

当初の積算基礎人数との差異でございますが、当初予算を組む時期が10月ごろになりますので、9月の時点での子どもの数、その年のそれぞれの学校の在籍の子どもの数ではなくて、その年齢の子どもの数で一旦給食数を積算しますので、その後、学校が始まりますと幼稚園に行く子もいれば保育園に行く子もいたりする。中学校では市外の

学校に行く子もいたりするというようなことで、このような差異がございませう。教諭のほうも一旦は前年度の9月の時点で積算見込みを立てておりますので、その後4月が始まりますと、児童等の状況に応じて、人数が若干変更になったりすることもありますので、そういった差異が出てきます。

渡辺座長  
教育委員会  
隅田委員

西部も同じ理由と言うことでよろしいですか。

はい。

これぐらいの誤差は、毎年あるという認識でよかったですでしょうか。それとも今年は特別減り方が多いのか、その辺りについてお願いします。

教育委員会

東部ですと、およそ20名から40名ぐらいの差が毎年、その年によって変わってきますけど出てくるということになっております。

教育委員会  
大上副座長

西部学校給食センター管内においても同じ状況でございます。

例えば気象状況で警報が出て、学校が休校するっていうのは分かるんですけど、その日のうちに使おうとしていた賄いの材料はどういうふうな扱いになるんですか。

教育委員会

状況にもよるんですけども、翌日の献立を中心にしてその食材を繰延べて使います。翌日の食材については業者にキャンセルをお願いできる分だけお願いしますという状況でございます。

大上副座長

保存できるものがあつたりするのかなと思ったんでお尋ねしました。処分になることは余りないのですか。

教育委員会

食品の状況にもよるんですけども、例えば、豆腐とか消費期限が短いもので、キャンセル出来ないものについては状況によっては使えない状況です。例えば今年の場合ですと7月8日、これが木曜日で休校となりました。でするのでその食材を翌日に繰延べて、金曜日に使ったんですけども、金曜日に予定しておりました油揚げなんですけれども、これがもう既に製造されておまして、キャンセルすることが出来ませんでした。消費期限がその翌々日の日曜でしたんで、月曜に使うというわけにもいきませんでしたので、福祉団体のほうにお声掛けして、約1万円分程度の食材費だったんですけども、寄贈ということにしまして、食品ロスはありませんでした。

原田委員

勘定科目で賄材料費とありますけど、これ原材料費と違うのか、賄いというたら何か、そこの職員さんの材料みたいな気がしたんですけど、それが違うのかということと、あと委託料でどういう項目をどこに委託されとる費用なんか聞かせください。



教育委員会	勘定科目の賄材料費ですが、私も直接そこまで調べたことはないんですが、いわゆる消耗品、原材料とは別科目で、弁当などは食料費であるんですけども、そういった食べ物の食材などの性格のものについては、賄材料費という科目で支出することになっているというふうに理解しているんです。次に委託料についてですが、今回の補正の額につきましては、パンの加工委託料ということで、丹波篠山市は三田市の業者にパンの加工委託をお世話になっておりますので、その分の契約というものでございます。
安井委員	給食事業収入が、約449万円減ったわけです。東西の賄材料費を見てみると、両方合計したら、約560万になりますから、差引きでいうと110万円ほど、要するに人数が減った分、利益が上がったというふうに理解していいんですか。
教育委員会	一つには幼稚園、こども園の多子減免、2子半額減免、3子全額減免がありますので、歳入は歳出より少なくなるということと、もう一つはこども園の短期保育と長期保育があるんですけども、長期保育はこども未来課で歳入を組んでいますので、今回のこの分には長期保育の部分が入っていないということでその差と併せた分ということになっております。

## ■行政経営部

### 日程第1 議案第12号 令和3年度丹波篠山市一般会計補正予算（第18号）

#### 財政課・管財契約課

##### 【主な説明】

補正予算書に基づき説明

##### 【主な質疑】

安井委員	繰入金のところの財政調整基金繰入金ですけども、今回の補正で約2億7,300万円減額になって、残高が約6億3,000万になるということですが、毎年度末には15億か16億円ぐらいの財政調整基金が残っていると思います。この金額から、最終的にあと10億円ぐらいはふえるというふうに考えてよろしいんですか。
行政経営部	今回の繰入れの減によりまして、財政調整基金の末残高の見込みがこの補正後で言いますと12億8,000万円ほどになります。そこ

から通常ですと、特別交付税や譲与税関係、さらには不用額等がございまして、プラスで何億円という形で残高がふえるような形になるかと思えます。

大上副座長 公民館改修助成事業の件なんですけど、次年度以降に見送ったという説明だったんですけども、申請は何件あって、その主な理由っていうのは何ですか。

行政経営部 見送られた自治会なんですけども3件ございました。そのうち1件は、4年度でされるということで1年ずらされたということです。あと2件については、予定はしておったんですけども、ここ一、二年では出来ないということで、それ以降に見送られたと聞いております。

大上副座長 改修の内容が例えば増えたりして予算が自治会の中で合わなかったりして、見送られたっていう要因もあるというような感じでよろしいですか。

行政経営部 副座長がおっしゃった要因もあるかもしれませんが、詳細については自治会からは伺っておりません。

## ■ 議会事務局

### 日程第1 議案第12号 令和3年度丹波篠山市一般会計補正予算（第18号）

#### 【主な説明】

補正予算書に基づき説明

#### 【主な質疑】

隅田委員 議会費ですが、全国伝統工芸品振興市議会協議会負担金が1万円減額ですが、これはコロナで総会が開催出来なくなったために減額になるんですか。

議会事務局 今年度はコロナの影響で総会等が開催できませんでした。事業が縮小されたことによりまして、協議会の運営費用が少なくなったため、負担金を集めないということになり、減額するものです。

隅田委員 今後もコロナの影響で集まっての総会などが開催できないことも想定されますが、そういったときにオンライン開催するなどの協議はなかったのですか。また、この協議会は何市ぐらいで構成されているんですか。

議会事務局 令和3年度の会員数は47市です。また本年度は、コロナの影響で

5月20日にオンラインで定期総会が開催されております。

■議員協議

渡辺座長 議員間で議論・確認等をしておいた方がよいこと等があれば、発言願う。

— 意見等なし —  
— 市長等への質問等なし —

■意向確認

議案第12号 令和3年度丹波篠山市一般会計補正予算（第18号）

— 修正・反対等の意見なし —

渡辺座長 この結果を含め、各委員との質疑、答弁の内容について、座長報告を行いたい。報告については、座長に一任いただきたい。

また、本日の会議の記録については、事務局に調製させ、座長、副座長において内容確認を行いたい。

— 異議なし —

渡辺座長 散会宣告、散会